


様式第10号(第6条関係)



令和2年 4月 10日

南相馬市議会議長

会派名 無会派(公明党南相馬市議団)  
代表者名 志賀 稔宗 

令和元年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和元年度政務活動費収支報告書

会派名 無会派(公明党南相馬市議員)  
志賀 稔 宗

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	180,000	
預 金 利 子	0	
会 派 負 担 金	18,331	
合 計	198,331	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費	144,805	8/19 昭石市 養父市 102417円 / 1/20 稔宗 42,388円
広報費	53,526	会報印刷、折込代
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	198,331	

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。  
2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金 0 円



政務活動費 旅費領収明細表

無会派 志賀稔宗 (単位 円)

氏名	旅費内訳		その他	合計	受領印	摘要	領収書No.等
	運賃等	宿泊料					
志賀 稔宗	72,202	28,100		100,302		①航空運賃及び貸切バス代	領収書No.1
						②宿泊料 (8/7 明石市：乙地方) 13,300円 × 1泊、(8/8 神戸市：甲地方) 14,800円 × 1泊	
						⇒②宿泊料は、南相馬市職員等の旅費に関する条例・規則に基づき定額支給	
(車賃)			1,258	1,258		走行距離136km (本市⇄仙台空港往復) × @37円 × 3台分=15,096円の1/2分の1	自家用車利用証明書添付 (友和会、尚友会との合同研修による乗り合わせ及び費用按分)
(駐車場代)			450	450		領収書添付 5,400円の1/2分の1	領収書No.2
(手土産代)			407	407		領収書添付 菓子折り 2ヶ分4,880円 (税込) (送料相当分は除く) の1/2分の1	領収書No.3
計	72,202	28,100	2,115	102,417			

令和元年8月7日～8月9日 (研修先：兵庫県明石市、養父市)  
(認定こども園の取り組みについて 他)

# 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input type="checkbox"/> 広報・公聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	研修視察(令和元年8月7日~9日 兵庫県明石市、養父市)に係る航空運賃及び貸切バス代	
支出月日	令和1年8月23日	
支出額	72,202円	
領収書 No. 1		

## 領 収 証

No. 107596

志賀稔宗 様

／ 年 8月23日

領収金額									円

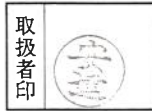
但し 航空券・バス代として

上記の金額領収致しました

印紙税申告納付につき福島税務署承認済

ふくしま未来農業協同組合

取扱店 原町総合支店



取扱店及び取扱者印がないものは無効といたします。

令和元年度 政務活動費 調査研究に係る自家用車利用証明書

車賃 37円/km(南相馬市職員等の旅費に関する条例第17条)

年月日	目的	発	目的地1 (所在地)	目的地2 (所在地)	目的地3 (所在地)	着	自家用車(37円/km)		運転手名	乗者人数	備考 (車両の所有者など)
							走行距離 km (整数、端数切捨)	算定額 (走行距離×37円)			
R1.8.7	視察研修 (南相馬市→仙台空港までの移動)	南相馬市	/	/	/	仙台空港	68km	2,516円	中川 庄一	4人	中川 庄一
R1.8.7	視察研修 (南相馬市→仙台空港までの移動)	南相馬市	/	/	/	仙台空港	68km	2,516円	菊地 洋一	4人	菊地 洋一
R1.8.7	視察研修 (南相馬市→仙台空港までの移動)	南相馬市	/	/	/	仙台空港	68km	2,516円	大場 裕朗	4人	大場 裕朗
R1.8.9	視察研修 (仙台空港→南相馬市までの移動)	仙台空港	/	/	/	南相馬市	68km	2,516円	中川 庄一	4人	中川 庄一
R1.8.9	視察研修 (仙台空港→南相馬市までの移動)	仙台空港	/	/	/	南相馬市	68km	2,516円	菊地 洋一	4人	菊地 洋一
R1.8.9	視察研修 (仙台空港→南相馬市までの移動)	仙台空港	/	/	/	南相馬市	68km	2,516円	大場 裕朗	4人	大場 裕朗
			( )	( )	( )		km	円		人	
計							408km	15,096円			

研究研修費、調査旅費で支出する場合に記録するものです。

- ①その都度記録し、事務局へ一旦提出願います。
- ②収支報告書提出時に、会派名、証明者名を記載して一緒に添付願います。
- ③目的地が4以上の場合、2行に分けて記載してください。
- ④私的な用務が行程にある場合は、それに係る走行距離数は除いてください。

令和1年8月13日

上記のとおり相違ないことを証明します。

友和会、尚友会、無会派 志賀稔宗 合同研修

会派名 友和会 尚友会 無会派(公明党南相馬市議団)  
 代表者名 中川庄一印 太田淳一印 志賀稔宗印  
 経理担当者名 菊地洋一印 平田 武印 志賀稔宗印



## 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報・公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成・購入費 <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
支出内容	研修視察(令和元年8月7日~9日 兵庫県明石市、養父市)に係る手土産代
支出月日	令和1年7月31日
支出額	407円 (菓子折2ヶ分4,880円の12分の1相当)

領収書 No.3

### お菓子の(株) 松月堂

原町四ツ葉店

II

福島県南相馬市原町区南町1-75

☎ 0244-23-3636

2019年 7月 31日(水)

浮城 12 ￥2,020

浮城 15 ￥2,500

2個 @1,440

✓送料 ￥2,880 → 対象外

値引 -￥2

課税売 ￥7,400

消費税等 ￥592

買上点数 4

合計 ￥7,990

(内消費税 ￥592)

お預り ￥10,000

お釣 ￥2,010

4:46 PM

0106 担当者1



# 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	会報印刷、折込代	
支出月日	令和1年11月27日	
支出額	53,526円	

## 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

公明党 南相馬市議団様

令和元年11月27日

★ ¥ 53,526-

但友和会、公明党合同会報印刷・折込代として  
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 ¥48,660-

消費税額等(10%) ¥4,866-

(株)プリント・ネットそうま

福島県南相馬市鹿島区小山田字戸ノ内504

TEL 0244-46-3872 FAX 0244-46-3944

政務活動費 旅費領収明細表

無会派 志賀稔宗 (単位 円)

令和元年12月19日～12月20日 (研修先：東京都衆議院第一議員会館、文科省、国交省、法務省) (スクールカウンセラーの設置・活用事業 他)							
支出内容	旅 費 内 訳		その他	合 計	受領印	摘 要	領収書No.等
	運 賃 等	宿 泊 料					
志賀 稔宗	27,588	14,800		42,388		①貸切バス代 ②宿泊料 (東京都内：甲地方) 14,800円×1泊 ⇒②宿泊料は、南相馬市職員等の旅費に関する条例・規則に基づき定額支給	領収書No.1
計	27,588	14,800	0	42,388			

# 領収書等添付用紙

(単位：円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input type="checkbox"/> 広報・公聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	研修(令和元年12月19日~20日 東京都 衆議院第一議員会館 他)に係る貸切バス代	
支出月日	令和2年1月9日	
支出額	27,588円	

領収書 No. 1

## 領 収 証

公明電報局株式会社 様

No 006062

金額	¥ 27,588
----	----------

但し 2/19~20 貸切バス代として

2 年 1 月 9 日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内訳

現金	✓
小切手	

税抜  
金額

消費税  
額 等  
( %)



本 社 〒975-0051 福島県南相馬市原町区生来宅石橋114-3  
TEL. 0244-23-2964 FAX 0244-22-3019  
官城営業所 〒981-1523 宮城県角田市梶賀字西74  
TEL. 0224-63-3810 FAX 0224-63-3820

扱者印



安全・安心で活力あるまちづくり

南相馬市議会

# 友和会・公明党合同会報

令和元年11月17日発行

私たちは、未来に誇れる南相馬市の創造に向けて、市全体を見据え生活の安全・安心と活力ある発展を目指し、市民目線で取り組んでいます。



友和会会員  
田中 一正  
4期  
TEL 22-8313  
・総務生活常任委員会  
・議会運営委員会副委員長

友和会会計  
菊地 洋一  
1期  
TEL 22-7384  
・総務生活常任委員会

友和会会長  
中川 庄一  
4期  
TEL 22-8150  
・建設経済常任委員会委員長  
・議会運営委員会委員  
・相馬広域圏議会副議長

友和会会員  
細田 廣  
4期  
TEL 46-3083  
・文教福祉常任委員会  
・水道企業団議員

友和会会員  
大場 裕朗  
1期  
TEL 26-5607  
・建設経済常任委員会

友和会会員  
今村 裕  
5期  
TEL 44-6355  
・市議会議員

公明党南相馬市議団  
志賀 稔宗  
5期  
TEL 24-4682  
・総務生活常任委員会

## ご挨拶

去る10月12日から13日にかけて襲来した台風19号は、土砂災害や浸水、河川の増水・氾濫など県内はもとより、本市にも甚大な被害をもたらしました。

さらに、復旧作業に追い打ちをかけるように、10月25日からの低気圧の影響による記録的な大雨で、市内広範囲にわたり深刻な状況に陥りました。被災された市民の皆様へ、心からお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方のご家族・ご親族の悲しみを推察いたし、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、昨年11月の市議会議員の改選により、最大会派「友和会」を新人議員を含め6名で結成いたしました。また、議長選挙に於いて、今村議長を我が会派より輩出したところで、政務活動では会派一丸となり、国・県に対しての要望活動や勉強会等を積極的に行っております。

結成して一年。これからも市民目線で、安全・安心なまちづくりに邁進して参ります。今後とも皆様のご意見等を賜りますようお願い申し上げます。

友和会会長 中川 庄一

## 公明党南相馬市議団からご挨拶

公明党の持ち味は、小さな声を聞く力です。声なき声にもしっかりと耳を傾けること。その上で、市民の皆さんの課題解決と生活向上の要望やご意見を市政、県政、国政に確実に反映させることにあると思います。それには、議員としての実力を磨くことが最も肝要と考えております。

志を同じくする友和会、尚友会の同志の皆さんと力を合わせ、公明ネットワークをフル活用し、政策実現力を磨きます。頼りになる議員集団、頼もしい議会、日本一暮らしやすく魅力的な南相馬市を目指して精進して参ります。叱咤激励のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

公明党南相馬市議団 志賀 稔宗

## 台風19号 南相馬市に甚大な被害

復旧・復興に全力で取り組んでいます。

10月13日未明に福島県を直撃した台風19号は、南相馬市に甚大な被害をもたらしました。

南相馬市は死者1名、負傷者2名。多数の床上浸水・床下浸水、河川の氾濫による道路や橋梁の損傷。そして企業活動や農業施設・農作物等に大きな被害を受けました。加えて、断水により市民生活にも多大な影響を与えました。お亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

私たち友和会と公明党南相馬市議団は、被害の全容把握を急ぐとともに、執行部と一丸となり復旧・復興に努め、国・県に損傷したインフラ整備と農林漁業や商工業についても必要な支援を強く求めて参ります。

(文責/菊地洋一)



堤防が決壊した太田川



新田川の氾濫により浸水被害を受けた果菜市場



大きくえぐられた道路と橋の損壊状況 (原町区高倉地内)



自衛隊と共に給水作業にあたる友和会、公明党市議団

### 北泉海水浴場海開き

7月20日、北泉海水浴場が9年ぶりに海開きをしました。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた北泉海水浴場は、震災がれきを取り除かれ、震災前と変わらぬ姿で海水浴客を出迎えることができました。今年の来場者数は約3万8千人で、震災前の8万人以上には及びませんでしたが、9年ぶりの再開の中で評価できることです。

海開き当日は、様々なイベントが開催されました。その一つに、北泉海浜総合公園わんぱく広場において、「きぼうの桜植樹祭」が行われ、植樹された「宇宙桜」に市内の小学生が水やりをしました。

この「宇宙桜」は、高さ30mにもなる巨大な桜とのこと。きぼうの桜の名の通り北泉海水浴場が、市民の希望に溢れるシンボルとなるよう、私たちも各方面にわたり応援・協力して参ります。

(文責/菊地洋一)

### 鹿島区にトレーニングセンターとサイクリングロードができます

両施設は、市民検討会や地域協議会、行政区長会などから80の事業提案があり、「市民一体感醸成事業」として選定されました。

健康づくりトレーニングセンターは、千倉グラウンドの東隣に整備されます。市民の体力づくりの場を創設し、健康長寿や生活習慣病の解消などを推進します。インストラクター等も配置し、利用者のニーズに対応します。

真野川親水サイクリングロードは、セデツテかしまから烏崎牛島地区まで、真野川河川敷を活用した総延長11kmのサイクリングコースを整備します。市民の健康増進に寄与するとともに、交流人口の拡大を目的としています。どちらも令和3年度当初の供用予定です。

(文責/細田 廣)

### 福島ロボットテストフィールド

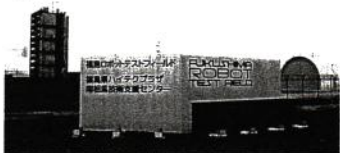
昨年2月から、南相馬市原町区萱浜地区に建設が進められてきた「福島ロボットテストフィールド」は、新たに5施設が完成し、これまで併せて16施設が利用可能になりました。

ロボットテストフィールドは、国のイノベーションコア構想の4つの分野の中の一つで、主に災害対応ロボットの開発において実際の使用環境を想定しながら、「研究開発」、「実証試験」、「性能評価」、「操縦訓練」を行うことができる世界的にも例のない施設です。

来年8月には、ワールドロボットサミットの開催が本市でも予定され、研究者が多く訪れる等、日々、交流人口が増えています。

東日本大震災、原発事故から8年7ヶ月が過ぎますが、復興の大きな起爆剤になるものと期待しています。

(文責/田中一正)



### 中学生海外研修事業

この事業は、復興総合計画後期基本計画の中で、重点戦略の一つに掲げる「子育て世代に選ばれるまち」モデル事業として実施されました。

海外研修を通して「広い視野をもった生徒の育成」「学ぶ意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成することを目的とした事業です。

市内中学生20名の募集に対し、18名が8月2日から3泊5日の日程でオーストラリア(ブリスベン)へ海外研修に行き、無事帰国しました。

9月1日には、原町生涯学習センターで報告会を開催し、参加した中学生2人ずつ9組で、「日本と違う文化を体験し、海外に興味を持つようになった」「もっと英語を話せるようになりたい」などの感想や、ホストファミリーと過ごしたこと、カンガルーやコアラに初めて触れた体験談などを披露しました。

(文責/大場裕朗)

### JR常磐線全線運転再開と特急列車の直通運転について

運転を見合わせている富岡駅～浪江駅間は、今年度末までの全線運転再開に向け復旧工事を進めています。

常磐線全線運転再開に併せて、東京と仙台を直通で結ぶ特急列車も運行することとなりました。運行再開時期や料金等は、今後決定していくとのことです。

市民の皆様のご意見等を頂きながら、国交省、JR東日本等に要望活動を進めて参ります。

(文責/中川庄一)



会派活動の様子

### 常磐道4車線化、付加車線設置について

平成28年3月に全線開通した常磐道は、暫定2車線区間で速度低下がみられることや、事故発生状況の踏まえ、機能強化を目的に4車線化や付加車線の設置を決定しました。

4車線区間は、山元IC-岩沼IC間約14km、広野IC-いわき中央IC間約27km。付加車線設置区間は、広野IC-山元IC約37km区間内のうち約13.5kmで、相馬IC-新地IC間、南相馬鹿島スマートIC付近、南相馬IC-浪江IC間、常磐双葉IC付近、常磐富岡IC-ならはスマートIC間、ならはスマートIC-広野IC間の6ヶ所となっています。

私たちの会派では、国会議員会館での勉強会において、全線4車線化を要望、国交大臣にも併せて要望活動を展開してきました。今後も4車線化実現のため要望活動を継続して参ります。

(文責/中川庄一)



### 避難指示区域となった小高区の復興に全力

小高の避難指示が解除されて2年余り、現在全力で復興に取り組んでいます。

1月には地域の活性化と賑わいを取り戻す復興拠点として、小高交流センターが完成しました。全面人工芝の遊び場、子育てサロン、電位治療器、ウォーキングマシン等を備えたトレーニングエリアの他に、故郷喫茶や殿様食堂、サーフボード直売所も入店。小高マルシェは、地元農産物の直売所として賑わっています。市民コミュニティーの核たる施設と

して、今後の活用が期待されます。

また、昨年暮れには待望の小高ストアが開店し、毎日の暮らしに欠かせない食料、雑貨を扱い、一段と利便性が向上しました。

他にも大型商業施設のダイユーエイトが再開、新規の小売店も開店しています。まちおこしグループやNPO等も一生懸命に復興の旗振りに頑張っています。帰還した皆さんが、さらに暮らしやすくなるように今後も努力して参ります。

(文責/志賀総宗)

### 常磐道4車線化、小高IC等の要望活動で成果

常磐道及びJR常磐線は、本市と首都圏を繋ぐ最重要交通インフラです。一日も早い常磐道の4車線化と小高スマートICの実現、JR常磐線の早期全線開通と東京までの直通特急列車の再開等を繰り返し国交大臣に要望して参りました。

また、JR常磐線については、

- ①早期全線復旧
- ②東京駅～仙台駅間の特急列車の再開
- ③原ノ町駅発着による東京週末フリー切符の再開等を要望しています。

現在、小高ICの事業決定、JRの特急再開が決定される等、大きな成果がありました。さらに今後も必要な要望活動に努めて参ります。

(文責/志賀総宗)



石井国交大臣へ要望書を手渡す